

# 溶接ロボットの品質高める周辺ソフト

## オフラインで高い機能を発揮

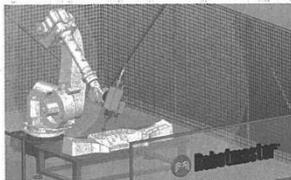
インタビュー

ゼネラル・プロダクトマーケティング部長 佐原宗樹氏



要がある。対してパソコン上で動作プログラムを作成し、ロボットへ転送するオフライン・オフという以前に概念が異なる。同機能を使えば、多層溶接などを行う時にワンパスずつではなく、1列3パス分のデータを作成可能にしていくのが、データをロボットに渡すことができる。また、「間隔15mmで6カ所の点付けを行う」など複雑な操作の演算も容易だ。加工が複雑になる、ワークの位置・ロボットのサイズ・アームのリーチ・ジョイントが回転するリミット角など、適用する性能が同ロボット制御ソフトには入っており、ロボットの動作を最適化できる。データは項目ごとに場合分けされ、緑（適正）や赤（アラート）で瞬時に見分けられるので、初心者でも扱いやすい。オンラインティーチングの場合、現場で長い時間を必要とする納期が2日ほどと短縮され、高効率化に、ロボットに欠かせない加工専用データを加え人員の再配置も可能となる。また、当社が30年前から販売しているCAMソフトMasterと併用することで設計からロボット加工までを網羅することができる。RobotmasterはCADの取り込み精度も高く、標準的なCADはほぼ100%、それ以外の規格でも、取っても大部分を受け取り可能のため、モデルデータの修正は必要ない。今後とも、Robotmasterのようなオフライン技術は、ロボット化が進むほど重要性は増していく。

当社はオフラインティーチングのロボット制御ソフト「Robotmaster」を販売している。同ソフトにワンパスずつではなく、1列3パス分のデータを作成可能にしていくのが、データをロボットに渡すことができる。また、「間隔15mmで6カ所の点付けを行う」など複雑な操作の演算も容易だ。加工が複雑になる、ワークの位置・ロボットのサイズ・アームのリーチ・ジョイントが回転するリミット角など、適用する性能が同ロボット制御ソフトには入っており、ロボットの動作を最適化できる。データは項目ごとに場合分けされ、緑（適正）や赤（アラート）で瞬時に見分けられるので、初心者でも扱いやすい。オンラインティーチングの場合、現場で長い時間を必要とする納期が2日ほどと短縮され、高効率化に、ロボットに欠かせない加工専用データを加え人員の再配置も可能となる。また、当社が30年前から販売しているCAMソフトMasterと併用することで設計からロボット加工までを網羅することができる。RobotmasterはCADの取り込み精度も高く、標準的なCADはほぼ100%、それ以外の規格でも、取っても大部分を受け取り可能のため、モデルデータの修正は必要ない。今後とも、Robotmasterのようなオフライン技術は、ロボット化が進むほど重要性は増していく。



「Robotmaster」の画面